

一般社団法人栃木県バスケットボール協会  
平成 30 年度 第 1 回理事会 議事録

日時：平成 30 年 4 月 24 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 20 名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美  
福田悦男、直井秀之、新村雅司、塚原弘江、福田憲司、日向野信行、渡辺諭  
前原延之、北条和寿、齋藤宣子(代理)、山田将樹、益子基久（特任理事）

〔監事〕 1 名 井上尉央

欠席：〔理事〕 10 名 中村剛久、石渡光平、杉森豪、佐藤智信、別井明彦、小林史雄、佐々木清美  
古谷常夫、横澤隆一、阿久津宏一（ミニ連）

〔監事〕 1 名 荻美紀

## 1 あいさつ

阿部会長：今年度第 1 回目の理事会、代議員会等の準備に関する審議があるのでよろしくお願ひする。

## 2 報告事項

### (1) 各種大会報告

ア エンジョイ：4/14 に第 1 回エンジョイ交流大会を実施した。オールスターズが、小田原で開催される東地区交流大会に出場することになった。

イ 高体連：5/5 から県高校総体が始まる。6/2・3 には関東高校男子バスケット大会が本県で行われる。

ウ 中学生連盟：3/28～30 ジュニアオールスター大会で、女子が決勝トーナメントに進出したが一回戦で敗退した。

視察；○福田強化部長：男子は、ディフェンスは良かったが、得点力・決定力がなかった。

○山田理事：男子は、小さいメンバーでどう戦うかだ。優勝した岡山県が見本である。

○前原理事：女子は、接戦であったが地力の差がでた。インサイドでリバウンドに苦しんだ。得点力やトラジションの部分では負けていなかった。

○上野副会長：男子は、終始接戦で、コンタクトの強さ、勝負どころのシュートが明暗を分けた。シュート力をつけないと勝ち上がれない。他のチームは 1 対 1 の能力が高い。チームとしての戦い方を作らなければならない。

女子は、4 p を通してどう戦い抜くのか。12 名で戦い抜く力が必要である。

### (2) 天皇杯・皇后杯 2 次ラウンドの開催について

事務局：12/1・2 ブレックスアリーナでの開催が内定した。

### (3) 代議員の推薦について→5/2 迄

### (4) 賛助会の募集について

今年度も募集する。また、H29 年度との変更点は次の 3 点である。

①会員期間を入会時から 2019 年 5 月末日までとする。

②会員申込期間を、平成 31 年 3 月末日までとする。

③会費納入期間を、毎年度協会事業終了時の 3 月 31 日とする。

(5) 強化部より（福田強化部長）

○Jr 育成プロジェクト委員会が栃木県育成センターを兼ねる組織として、U11～U16 のカテゴリーの指導スタッフを決めた。

○新 U12 が栃木国体の該当学年、U15 が茨城国体からの該当学年となる。1 年間のスパンで指導していきたい。

○昨年 7 月より U14 の強化練習会を白鷗大学で実施してきたが、今年度 U15 に上がり強化をどうしていくのが課題、8 月までは、高校に会場を借りて強化していきたい。高体連と打ち合わせをして進めていく。

○それ以降は、男子は荒井さん、女子は長南さんをお願いして強化を図り茨城国体に向かう。

○それ以外のカテゴリーについては、各担当に任せて進めたい。携していきたいと考えている。

上野副会長

○U15 の強化を 8 月まで高校とゲームしながら進め、その後はチームとして強化を図る。

○指導スタッフには、高校・中学ともに入ってもらい、チームスタッフに高校にも加わっていただく。

(6) 財務部より（鈴木財務部長）

○労働局から指導があり、労災保険に加入することになった。

○H29 年度は、法人税が発生する予定で、5 月末までに納入することになる。

○H29 年度の決算については、代議員会の直前の理事会で審議することになる。

○スポンサーセールスの基礎資料をブレックス側に提出した。それをもとにブレックス側がセールスシートを作成して、6 月以降営業に歩くことになる。小口でもよいから紹介して欲しい。

○JBA の新登録システムが機能せず、還付金が入金されない。現在 3 月末の残金と D-fund からの入金で 650 万円くらいしかない。各連盟で至急運営資金が欲しい連盟があれば連絡してほしい。

○これから、D-fund の報告がついてくるので、大会事業と強化部事業については 1 事業 1 会計報告をお願いする。

片桐副会長

○セールス活動に対する経費はどうするのか。

事務局：日当計算になると思うが、検討して理事会に諮りたい。

(7) 平成 30 年度代議員会の準備状況について（事務局）

○決算・事業報告については準備中である。決算については、5 月末までにはまとまる予定である。JBA と県体協へ報告しなければならない事項である。

(8) その他の報告

ア スタッツ・TO ライセンス取得の推薦について

○JBA より推薦依頼があった。今後、国際試合や B リーグ等のゲームでは、FIBA のスタッツ・TO ライセンス取得者が担当することになる。ブレックスのホームゲームを担当する者の条件として、資格取得者か取得中の者という条件を課することとして委員会に推薦を依頼し

たら、27名の推薦があった。

#### イ 3×3について

○今年も、7/28・29に二荒山神社において3×3FIBA ワールドツアーが開催される。新たな試みとして、栃バ協と宇都宮市が共催して、U12の大会等イベントを行う。男女勝ち残ったチームが当日に前座試合で決勝を実施したり、市長のボール贈呈式や、フリースロー大会などいろいろ企画している。

○FIBAの登録システムの講習会を国内で初めて実施した。他県からの参加者もあり、その中で、3×3の運営状況は日本がトップレベルであり、他の国では悲惨な状況であるとの話もあった。

○FIBAのレフリークリニックについても計画中であり、東京オリンピックに向けてTOを育てたい。

○6/30・7/1にワールドツアーの予選プレミアが開催される。前座でU12のゲームがある。今年度はU12の大会を数回開催して普及に繋げたい。

○3×3の審判長武井さんが東地区の審判のまとめ役となって活躍している。

#### ウ BREX 関係

○チャンピオンシップの出場が決まった。ホーム残りゲームは3となった。勝敗に関係なくワイルドカード2位での出場、トーナメントの場所は変わらないが、相手が三河になるか、千葉になるかは決まっていない。

○5/19にBリーグが主催して、指導者リフレッシュ講習会を開催することになった。詳細は後日Bリーグから発表される。

○今年度の予定については、9/7~9に関東アリーカップの開催と天皇杯・皇后杯2次ラウンドの開催について決定している。18-19シーズンについては、体育館の調整が済んでからの発表となる。

#### オ 関東アリーカップの動員について

○関東アリーカップの金曜日の開催について、フジTVの放映の関係で600名ほどの動員をかけられないかと相談があった。動員をかけることで進めることとしたい。

### 3 定足数について

○出席者20名で過半数を超えているので定足数を満たし、本理事会は成立。

### 4 議事録署名人の選出について

阿部会長：社会人連の福田憲司氏と審判部の渡辺諭氏にお願いする。

### 5 審議事項（議長：阿部会長）

#### (1) 平成30年度強化費予算（案）について

専務理事：○県の補助金の関ブロ対策費が突破の見込みがあるということで30万円アップし110万円となった。これを少年女子・成年男子に36万円、成年女子に38万円としてこれに栃バ協負担分40万円をプラスして関ブロまでの強化費としたい。

○少年男子については、県の補助金がストレート対策費として70万円ついており、これに栃バ協負担分50万円をプラスして本国体までの強化費としたい。

—承認される。—

専務理事：○H30年度の強化関係の総事業費は10,509,460円、内県費が5,390,000円、栃バ協負担額が5,119,460円となる。

○栃バ協負担の内、D-fundから1,192,000円、Jrオールスター140万円、国体強化170万円、ユース育成費30万円は確保されており、残りの527,460円が実際には確保されていない。

○この部分については、賛助会からの寄付金頼ることになる。今年度実績からすれば可能である。強化費関係の予算はこれでよいか。

—承認される。—

- (2) 天皇杯・皇后杯栃木県代表決定トーナメント大会要項について（案）

競技部：○昨年からの訂正は、名称がファーストラウンドから栃木県代表決定トーナメント大会に変更になった。あとは昨年と同様である。

事務局：○D-fundから運営費20万円、1次ラウンド出場チームにはJBAから10万円の激励金が出る。

—承認される。—

- (3) 平成30年度定時代議員会次第について（案）

事務局：○資料に沿って説明。

小曾戸副会長：○役員改選については、77回国体を見据えた役員構成が必要ではないか。

事務局：○各連盟から代議員の推薦が上がってきた段階で、幹部会議を開いて検討する。

—承認される。—

- (4) 役員数（理事）について

事務局：○現在理事数は27名、会長から常任理事までが9名、他の理事が18名で各連盟から選出された数を見るとバランスが悪い。

○理事会の規模を小さくしてもよいのではないか。そのために、各連盟からの選出数を検討して理事数を減らすことについて審議願う。

○具体的な人数については、幹部会で検討する。

—承認される。—

事務局：4月中に代議員の推薦をもらい理事の選任を行う。

—承認される。—

- (5) その他：特になし。

## 6 その他

特になし

## 7 あいさつ

片桐副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。